

## 第1回北海道入札監視委員会審議概要

開催日及び場所 平成15年5月22日(木) 札幌ガーデンパレス

委員  
伊藤 隆道(弁護士)  
笠原 篤(北海道工業大学教授)  
梶井 祥子(北海道武蔵女子短期大学助教授)  
高井 哲彦(北海道大学大学院助教授)  
花岡 英司(公認会計士、税理士)

### 議事等

#### < 委員長等選出 >

委員長 伊藤 隆道(弁護士)

委員長代理 笠原 篤(北海道工業大学教授)

#### < 報告事項 >

入札制度改善等の経過について

(道の入札制度の概要、入札制度改善行動計画に基づく取組について説明。)

入札監視委員会の業務概要等について

(公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律及びこの法に基づく適正化指針、各発注機関から入札・契約状況を報告させる手法、苦情処理手続きの概要について説明。)

(意見、質問、回答は別紙のとおり)

#### < 議事 >

今後の日程について

・定例会は年3回(5月、10月、2月)とする。

・7月~9月にかけて、各発注機関に出向き、現地調査を実施する。

・再苦情があった場合は、随時開催する。

審議案件抽出方法等について

・案件の抽出は、各委員の持ち回りで抽出する。

・当面、審議案件を10件程度とする。

その他

・ランダム・カット式指名選考のあり方について、現地調査や委員会による議論を踏まえた上で判断することとし、平成15年度中に一定の結論を出すこととする。

(意見、質問、回答は別紙のとおり)

意見・質問等	回答
<p>&lt; 報告事項 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な入札方式を実施するに当たり、工事等級によって入札方式を決定しているのか。また、地域限定型一般競争入札の地域は、市町村単位なのか。</li> </ul> <p>&lt; 議事 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>審議案件の抽出は、具体的にどのように抽出していくか。</li> <li>審議案件数はどの程度にするか。</li> <li>ランダム・カット式指名選考のあり方について、入札等監理委員会から申し送り事項となっているが、どのように検討していくか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な入札方式は、行動計画の中で年次計画を策定し実施してきた。初年度はおよそ10%、3年間でおよそ30%を目標としており、実績としておよそ40%実施してきた。制限付一般競争等を除いては、各工事等級を目安とし、その中から選定している。 また、地域は、生活圏の数市町村や支庁管内を単位とするなどとなっている。</li> <li>およそ四半期ごとに各発注機関から提出される入札契約に関する報告書の中から、委員が無作為に抽出する。なお、抽出する委員は各委員の持ち回りとする。</li> <li>1件の審議時間等を勘案すると、10件程度が妥当。今後、実施していく中で審議案件数の見直しを考える。</li> <li>現地調査等の中で、入札契約総合管理システムの稼働状況や指名選考過程などについて調査し、指名選考における恣意性の有無等について審議し、15年度中に一定の結論を出す。</li> </ul>